

【表紙】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、景気は緩やかな回復基調が続きました。株価・為替は各国政府や

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年同期末に比べ54億2千9百万円（19.1%増）の増加となり、338億8千4百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

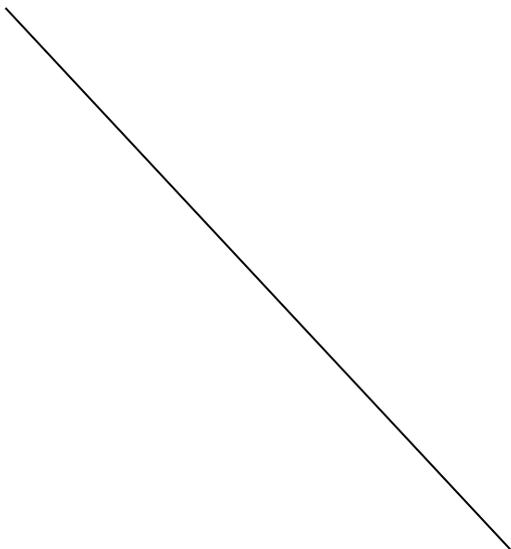
--

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

--	--



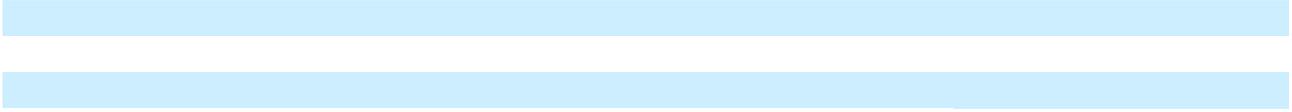
第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】





【四半期連結包括利益計算書】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

当第2四半期連結累計期間(自

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

2 【その他】

第二部 【提出会社の輔 钩輔 穢 耀

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月7日

兼松エレクトロニクス株式会社
取締役会 御中

PWCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 沢 直 靖

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢 野 貴 詳